

令和4年度

地域づくり交付金 事例集

雄和地域



秋田市

雄和市民サービスセンター

【目次】

雄和地域

- | | | |
|----|-------------------------|-------------------|
| P3 | … 「華の里×華の里」プロジェクト | 特定非営利活動法人nasu地人協会 |
| P4 | … 鹿野戸地域交流文化事業 | 鹿野戸自治会 |
| P5 | … 雄和の歴史・文化・自然啓発事業 | 雄和ガイドボランティアの会 |
| P6 | … 雄和婦人会おせっかいプロジェクト | 秋田市雄和婦人会 |
| P7 | … 雄和華の里こども秋まつり | 秋田市雄和こども秋まつり実行委員会 |
| P8 | … 『露月365日』(春季・夏季編) 編纂事業 | 石井露月研究会 |
| P9 | … 地域づくり交付金とは | |

【目次】

雄 和 地 域

P10 … 継続事業の交付対象期間を延長する特例措置について

「華の里×華の里」プロジェクト

★ コメント ★

当日は雨であったが、チラシだけでなくラジオやニュース、SNSなどのメディアを通じて知った方が個々の気になるイベント内容を楽しみに来場してくれた。

和傘はダリアを模したイメージであり、見頃のダリアと調和していた。

また、雨傘代わりに使用され、物珍しさもあり、晴れ間には記念撮影にと利用者には好評であった。

このイベントで使用した和傘をイベント以外の期間でも貸出の機会を設けて欲しいと言う来場者の声もあり、新しいアイデアやイメージを持ってイベントを考えていく未来性も感じた。

申請団体	特定非営利活動法人 nasu地人協会
事業概要	雄和華の里エリア内に「華」を統一テーマにした設営・装飾をほどこし、「映(ば)え」るスポットや体験企画を提供する。
交付確定額	500,000 円



鹿野戸地域交流文化事業

申請団体	鹿野戸自治会
事業概要	鹿野戸自治会が長年継続してきたスポレク(住民対象運動会)に代わる事業として『健康と交流』をテーマに、笑いヨガや民謡等をはじめ、様々なエンターテイメントによって全世代型の交流の場を設ける。
交付確定額	360,000 円

★ コメント ★

健康と交流をテーマに様々なエンターテイメントを用意し、それぞれが楽しんでもらう創意と工夫を施した。

秋田市内からの講師を招き、帰ってから一人でも実践出来るヨガや、地域に大きく関係のある民謡などを内容に盛り込んだ事は、楽しみながら交流をはかる手段として大きく効果があったと判断できる。



雄和の歴史・文化・自然啓発事業

★ コメント ★

案内標柱の設置は、秋田市内外から雄和の歴史、文化、自然について雄和の魅力を発信し、多くの方々を案内して後世に繋げる機会になった。

また、小中学生における自然、歴史の野外学習、一般市民による歴史や、文化、自然学習について雄和地域を巡り、好評を得た。



申請団体	雄和ガイドボランティアの会
事業概要	<p>雄和の歴史、文化、自然や暮らしについて地域に根ざした説明、目的地への目印、的確かつ解りやすい標柱を建立する。</p> <p>雄和の様々な人々が古来から育んできた雄和の魅力や価値を、次世代の人々に雄和ガイドボランティアとして解りやすく伝えるため、この標柱を活用する。</p> <p>さらに、定期的に市民講座を開催することによって、雄和の歴史、文化、自然や暮らしを紹介し、これを伝承していく。</p>
交付確定額	500,000 円



雄和婦人会おせっかいプロジェクト

申請団体	秋田市雄和婦人会
事業概要	地域福祉施設へのボランティア活動、雄和地区敬老会への参加、市民協議会主催行事への参加と、勉強会、移動研修、健康講座、大正寺おけさへの参加を通して雄和地域の各婦人会員が、教養、生活意識の向上、地域社会の振興・発展に寄与する。
交付確定額	500,000 円

★ コメント ★

花植活動においては、地元の協力者と作業終了後に共に雄和で頑張ろうと語り合い、今後の協力も約束できた。

大正寺おけさに参加してみて、地域との一体感を感じることができ、手応えがあった。

今後もまつりの盛り上げと踊りの継承と支援に繋げることができる。

このように、活動を通してはつらつとした仲間作りをすることができた。



雄和華の里こども秋まつり

★ コメント ★

地域の子供から大人までたくさんの方に交流の場として楽しんでもらい、「雄和華の里エリア」にある、「秋田国際ダリア園」や登録有形文化財「里の家」を活用し雄和の特色や文化について学ぶ事が出来た。

申請団体	秋田市雄和こども秋まつり実行委員会
事業概要	秋まつりの催しとして、華の里エリア内に宝の在りかを解く暗号等を設置するなどした、「宝探しをするゲーム」を開催する。
交付確定額	79,000 円




『露月365日』（春季・夏季編） 編纂事業

★ コメント ★

俳句初心の方、あるいはこれから俳句に取り組んでみようという方々を念頭に置き、わかりやすいコメントを添えて、『露月365日（春季・夏季編）』を編集・刊行し、俳句教室と市民講座を通じて若い世代にも露月の魅力を伝えている。

申請団体	石井露月研究会
事業概要	<p>露月の生涯に詠んだ9200余句の中から365句を選抜し、今年度は春季・夏季編として2月4日から8月6日分までを編集。</p> <p>掲載する各句に200字前後の鑑賞文を付して刊行する。</p> <p>併せて俳句教室と市民講座を開催する。</p>
交付確定額	333,000 円





露月365日

春季・夏季編

石井露月研究会

◎地域づくり交付金とは

地域づくり交付金は、地域の課題解決や地域力向上などに取り組む公益的な活動を支援する制度です。

◎対象となる事業は

4月1日から翌年3月31日まで実施され完了する事業

- ・地域の課題解決－地区防災避難訓練の実施など
- ・地域の連携促進－地域世代間交流イベントの開催など
- ・地域力の向上　－地域住民で身近な史跡を巡って記録誌作成など
- ・地域の魅力普及－地域に古くから伝わる踊りや、郷土料理の復活・継承など

◎交付金額は

事業1件につき5万円以上50万円以下です。

1年目から3年目までは交付対象経費の全額。4年目は交付対象経費の3分の2。5年目は交付対象経費の3分の1です。

なお、詳しい内容については「地域づくり交付金の手引き」をお読みください。

ご相談は、各地域の市民サービスセンターの窓口でお伺いいたします。また、他の市民サービスセンターでもご相談をお伺いいたします。

ご相談をお待ちしております。

地域づくり交付金の継続事業の 交付対象期間を延長する特例措置について

地域づくり交付金の交付対象期間は、最初に交付した年度から起算して、5年を限度としています。ところが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、事業を継続実施できない事案が発生しているため、当該理由により申請を行わない年度については、交付対象期間に含めないとする措置を取っています。

下記の期間計算の例を参考のうえ、対象事業が複数年交付を受ける際は、事業の実施年度における「交付年数」および「交付対象経費の割合」について、申請窓口となる市民サービスセンターでご確認のうえ申請するようご注意ください。

※特例措置については、平成28年度以降に交付を受けた事業が、対象となる可能性があります。詳しくは、裏表紙に記載の担当にご確認ください。

【継続事業の基本的な期間計算】

同一事業が交付対象となる期間は最初に交付した年度から起算して5年間で限度です

4年目は、交付対象経費の3分の2に相当する額とし、5年目は、交付対象経費の3分の1に相当する額としています

例A 事業	交付状況	交付確定	交付確定	交付確定	交付確定	交付確定	交付対象外
	交付年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
	交付対象経費の割合	全額	全額	全額	3分の2	3分の1	-

例B事業のように最初に交付した年度の次の年度からは申請のない場合も2～5年目として期間に算入されます

例B 事業	交付状況	交付確定	申請なし	申請なし	申請なし	申請なし	交付対象外
	交付年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
	交付対象経費の割合	全額	-	-	-	-	-

【継続事業の新型コロナウイルス感染症の影響による期間計算の特例】

例C 事業	対象年度	H30年度	H31/R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	対象事業	実施により 交付申請	実施により 交付申請	新型コロナウイルスの影響により 実施不可のため申請なし			継続事業として 申請可能
	交付状況	交付確定	交付確定				
	交付年度	1年目	2年目	特例で期間に算入しない			3年目
交付対象経費の割合	全額	全額	-	-	-	全額	

例D 事業	対象年度	H30年度	H31/R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	対象事業	実施により 交付申請	申請なし (団体都合)	新型コロナの影響により 実施不可のため申請なし	実施により 交付申請	実施により 交付申請	継続事業として 申請可能
	交付状況	交付確定			交付確定	交付確定	
	交付年度	1年目	2年目	特例で期間に算入しない	3年目	4年目	5年目
交付対象経費の割合	全額	-	-	全額	3分の2	3分の1	

地域づくり交付金は、地域の課題解決や地域力向上などに
取り組む公益的な活動を支援する制度です。

平成23年度より令和4年度までの間に延べ700件を超える
事業に活用されています。

皆様の地域でも、この事例集を参考にして、皆様の意欲やア
イデアを活かし、住みよい地域づくりの活動に、地域づくり交付
金を活用してみたいはいかがですか。

ご相談をお待ちしております。

秋田市 市民生活部 雄和市民サービスセンター

〒010-1223 秋田市雄和妙法字上大部48番地1

TEL: 886-5550 FAX: 886-2154

E-mail: ro-scyw@city.akita.lg.jp

事例集はホームページでご覧いただけます。

秋田市 地域づくり交付金

検索

